

6月議会 報告 請願について

「請願」は憲法で保障された国民の権利です。いつでもご相談を。



採択された請願

1. 予算・決算特別委員会の録画配信を求める請願
2. 本会議における一問一答方式の速やかな採用を求める請願

紹介議員となり、新たに審査が始まった請願

1. 児童クラブ入所条件の見直しを求める請願
2. 予防医療促進のため「胃がんハイリスク検診」の導入を求める請願

9月

9月定例会市議会では、23年度の決算審査も行います。市の財政運営がどう行われたか、しっかりチェックしてまいります。

- 9/6(木) 初日 (市長所信表明・当初議案審議等)
- 9/7(金) 代表質問(自民・公明・共産)
- 9/10(月) 11(火) 12(水) 一般質問
- 9/14(金) 18(火) 1日2委員会ずつ、計4常任委員会
- 9/19(水) 議会運営委員会(午前)
議会基本条例特別委員会(午後)
- 9/21(金) 24(月) 25(火) 26(水) 決算特別委員会
- 10/3(水) 最終日(委員会報告・追加議案審議 意見書採択等)



私は9/12(水) 午後一般質問を行う予定。9月議会は議席番号の大きい順です。4つの常任委員会の詳しい日程は8月末に決まります。 請願をお出しになる方は、8月23日(木) 午後5時が締切ですので、ご相談ください。

【ひがしむらやま短信】

今年4月現在の保育園待機児は195名。7/1には全生園内に花さき保育園が拡張移転し、8/1には青葉さくら保育園(今年度は71名、来年度から100名)が新設されます。来年度は廻田町内と多摩湖町内で150名近い定員枠が増える見込みです。関係者のご尽力である程度縮減に向かうと思いますが、待機児ゼロにはならないと言われます。計画的な整備を引き続き求めていきます。

花さき保育園の開所式に出席し、その理念と子どもたちが育つ環境に感嘆。様々な制約の中でも子どもたちの最善を考えての思想が有るか無いかで、保育園の姿は大きく変わってくることを改めて痛感しました。

「リサイクルセンター建設を考える市民の会」という団体が提起した直接請求署名数が法定数を上回ったと報じられています。8月20日過ぎに臨時議会が開かれ、住民投票条例案が審議されることとなりそうです。



なんとかしようよ！東村山

東村山市議会議員佐藤まさたか レポート第47号



6月議会報告「入札」問題

6月定例会市議会は、市民生活を左右するような大きな議案はなく、22日(金)に閉会しました。しかし、閉会中の継続審査となった請願や、委員会として研究調査を行う事項が多いので、あつという間に9月議会の準備の時期を迎えることとなりそうです。

6年前に続き今回も競争入札は形だけ

6月議会での一般質問では前号でお知らせした通り「秋水園焼却炉運転管理業務委託

の入札に異議あり！」と「東村山駅西口サンパルネの見直し」について、これまでの経過を明らかにした上で疑義を質し、新たな提案を行いました。

まず入札問題です。平成5年度から部分的に委託後は泰成エンジニアリング(株)へ無競争の特命随意契約を行い、12年度には監査委員から不適切であるとの厳しい指摘があったこと。14年度の全面委託化直後には、同社社長が他自治体への贈賄容疑で逮捕され、市民から監査請求が起こされ、結

論が出なかったこと。翌15年度に初めて競争入札を行い、JFE環境サービス(株)が落札。3年後に行われた入札では実質的な競争はなく、その後また随意契約を継続してきたこと。そして昨年度、同社が当市の業務中の労災隠し事件で摘発されたため、今年3月に6年ぶりの入札を行うも、結論ありきとしか言いようのない経過でJFEが三たび落札したこと等がわかりました。

しかし市には調査の意思がありません。別のステージも含め、追いを続けていくつもりです。



秋水園(秋津町)

6月議会報告 一般質問(その2) サンパルネの本格見直しに着手を



今秋で開設から3年が経つ東村山駅西口公益施設「サンパルネ」。西口駅前再開発の時に約10億円を投じて取得したスペースでありながら、閑散としているコーナーが少なくありません。

私は当時、取得に反対をしましたが、議会の多数は同意。その後年間約5,000万円以上の維持費をかけて運営されており、また国の交付金を頼りに整備したために返上や売却はできません。より多くの方に使っていただける施設とするため、早急かつ真剣に考えなければならない状態です。

5月には、運営について検討している市の会議を傍聴もしました

が、民間事業者やボランティアの前向きな意思を市が活かさない状況を何とかしないと、いつまでも課題は解決されないと感じました。

私の質問に市長は、「ご指摘のような問題はあり、低迷したままだと次回の管理者選定時に市の持ち出しが増加する恐れがある」「国の交付金は、市民の多様な活動を促すための支援、地域再生を目的に取得しており、目標に資する柔軟な運用は可能と思う」「次回の選定時には、市民の利用が進んでいないスペースは、より広い意味での市民ニーズを反映する施設としなければならない」「公共施設全体の再生や、西武線連続立体化、駅周辺の活用等とも合わせ、全庁的な観点から検討していきたい」等と答えました。

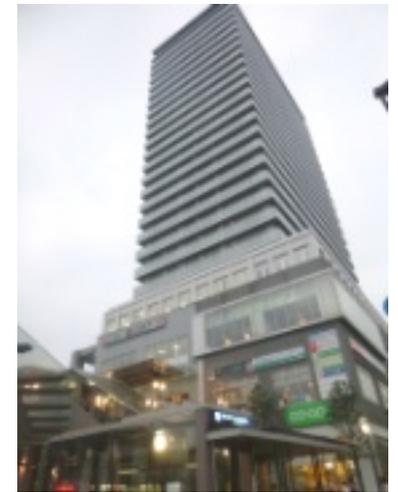
東村山市だけではなくのかもしれませんが、国や東京都の交付金頼みで事業を立ち上げたりハコモノを取得した結果、真に必要な活

用ができなかったり、不要な部分まで背負うことになったりということが少なくありません。

国や東京都の金も市の金も、同じ税金です。国家財政が火の車であることは子どもでも知っています。また多くの場合、取得時の金は出ても維持費は出ません。財政が厳しい当市ですが、補助金や交付金ありきの事業着手には十分注意すべきだと思うのです。

サンパルネの指定管理者である(株)東京ドームグループは、今春から市民スポーツセンターの管理者にも選定されています。

民間のノウハウ、スケールメリットを活かせるよう、また駅周辺活性化の拠点となるよう、市には本腰を入れて見直し作業に着手してほしいと考えています。



「会派」異動のご報告 ～奥谷議員離脱による変更

昨年4月の選挙後、大塚恵美子・奥谷浩一両議員と新たに結成した議会内会派「変わろう!議会・東村山」ですが、6月議会最終日に奥谷議員から「信頼関係が失墜した」との理由で離脱の申し出があり、7月2日付で大塚議員との2人会派となりました。

直接的な原因は私の配慮不足によるものであり責任を感じていますが、奥谷議員なりの様々なご意思が働いたものと受け止めています。

東村山市議会では3人以上の会派にのみ交渉団体としての資格が与えられますので、今回のことにより私が出席していた代表者会議と議会運営委員会には出られないこととなりました。

多くの議会では、議会運営についての協議には全会派が参加しています。在籍中にルールを変えられなかったことに責任を感じていますが、8会派中、自民・公明・共産の3会派だけの協議という状態は望ましいことではなく、今後、粘り強くルール見直しを働きかけていきたいと思っています。

佐藤まさたか 東村山市議会議員(無所属・3期目)昭和38年日野市生れ・49歳/慶應義塾大学経済学部卒/民間社会教育・野外教育、学童保育、保育所等に勤務の後、2003年4月の市議選に初当選/「大事なことは市民が決める東村山へ」をテーマに、東村山駅西口再開発をめぐる住民投票条例運動等に関わる。情報公開・説明責任を果たす市政、見える議会、オモテで議論して合意形成を図る議会をめざし活動。大塚恵美子議員と共に議会内会派「変わろう!議会・東村山」を結成。/NPO法人多摩住民自治研究所理事/自治体学会会員/ブログ・Twitter(@sato_masataka)・Facebook等で発信中!〒189-0025 東村山市廻田町2-21-13 電話&FAX:042(398)5265 E-mail:gachapin@sato-masataka.net